

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く。</li> <li>拗音、促音、撥音などの表記ができ、助詞の「は」「へ」「を」を文の中で正しく使う。</li> <li>文の中における主語と述語の関係に注意して読む。</li> <li>文学的な文章、説明的な文章では、文章の言葉をもとに内容を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの話し合いの場を多く設け、話題について尋ねたり、応答したりできるようにする。</li> <li>作文だけでなく、めあてを書く時などにも、細かく注意し、丁寧に指導していく。</li> <li>家庭学習と連携して、音読の量を増やし、主語と述語の言葉に着目させるようにする。</li> <li>自分の考えを表す時には、文章中のどの言葉をもとに考えたのか、聞くようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。</li> <li>加法、減法の理解を深め、また、乗法の意味を理解し、用いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物や半具体物、図を用いて考えさせることで、十進位取り記数法による数の表し方や、数の相対的な大きさを理解できるようにする。</li> <li>具体的な場面に基づいて、計算の意味や仕方を考えさせ、計算方法を身に付けさせる。</li> <li>考える時間を保証し、自分なりの考えをノートに書く時間をもつ。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの地域の商店街や、公園などに関わることで、自分たちの住む地域への愛着を形成する。</li> <li>観察や見学したことを絵や文章で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が身近な人々や社会とのかかわりに関心をもつために、商店街の1つ1つの調べたいお店を実際に見学することを通して、商店街で働く人々が自分たちの生活につながることを感じさせる。</li> <li>観察の観点を、「大きさ」「色」「さわってわかること」などわかりやすく示すことや、よく観察し、表現できている児童を紹介し、書けるようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体のバランスをとったり移動をしたりする際に、スムーズに動くことや、バランスを保つことができる。</li> <li>ボールを投げたり捕ったり正しく操作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や方向を変えて立ったり座ったりする運動や友達と互いにバランスを崩し合ったり、崩されないように保ったりする運動などを学習に取り入れていく。</li> <li>ボールゲームの中で、狙ったところに投げられるよう、投げ方を友達で見合う。また、手本を示すことを通して正しい投げ方を身に付ける。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつや整理整頓などの基本的な生活習慣を身に付け、明るく伸び伸びと生活する。</li> <li>約束やきまりを守り、友達と仲良くし助け合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の様々な場面において、具体的な指導を積み重ねる。</li> <li>日常の体験を想起し実感を深めやすい資料を用意し、中心的な発問を考え、登場人物の気持ちになって考えることができるようにする。</li> <li>考えを表現するために、書くだけでなく役割演技なども取り入れる。</li> </ul>

<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が楽しく音楽にかかわり、音楽に興味・関心をもって生き生きと活動する態度や習慣を育てるとともに、友達と合わせ、音楽をより美しく、自分の思いをもって表現しようとする姿を育てる。</li> <li>・友達の歌声や音を聴いて、音色に気を付け、拍にのり、合わせて演奏しようとする。</li> <li>・さまざま音楽に親しみ、音楽を形づくっている要素のかかわり合いや楽曲の気分を感じ取って音楽を聴くことができる姿を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現（歌唱・器楽・音楽づくり）鑑賞の活動の関連を常に図り、授業を進める。ペアや3～4人のグループになり友達とかかわり合う授業形態を取り入れ、自分の思いを伝えながら表現を工夫したり音楽を感じたりできるようにする。また、常時活動の充実を図り、体を動かす活動、リズム打ちなどの活動を通し、フレーズ感や拍感、リズム感が育つように1時間1時間の展開を工夫する。</li> <li>・常に友達の声や音を聴いて歌うことを意識するとともに、曲の感じを生かして表現を工夫する楽しさを味わえるようにする。また、合わせて歌う、演奏する楽しさ「合った」という喜びを友達と共有できる場を多く設けるようにする。</li> <li>・音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴くことができるような学習活動の工夫と教材の工夫を十分に行う。特に、楽曲をくり返し何回も聞くようにする。その中で、児童が知覚・感受したことを言葉や文章で表し、黒板（電子黒板）を利用し、全体で共有できるようにし、自分の感じ方、友達の感じ方を大切にす。そして、音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくる。</li> <li>・用具を正しく扱って、表し方を考えて表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品に対して不安を感じている児童に対しては、それぞれの発想の良さを認める機会を多く増やす。</li> <li>・用具の使い方や動かし方などの知識を身に付けさせ、表し方に生かせるようにする。</li> </ul>